

旭川市社会福祉審議会会議内容報告書

〔令和6年度 第3回 障害者福祉専門分科会〕

開催日時 令和 7年 2月13日(木)
午後6時30分～午後7時30分
開催場所 旭川市7条通9丁目
旭川市総合庁舎7階 大会議室C

会 議 の 名 称	令和6年度第3回 障害者福祉専門分科会	
出 席 者 委員（16名） 事 務 局 【障害福祉課】 (3名)	秋葉裕美委員，石戸谷康治委員，上田信二委員，大橋伸也委員，久住呂志奈子委員，熊田広樹委員，小林広学委員，嵯峨浩樹委員，佐々木伸彦委員，高宮央委員，地下弘子委員，長峯美穂委員，西野興子委員，山賀慎一委員，森田琢博委員，吉田貴彦委員 水上課長，遠藤係長，貞森主査	
傍聴者数等	0名 （会議は全体を通して公開）	
議事の内容 議事1	第5次旭川市障がい者計画の策定について	
審議内容及び 主な意見等 (開会) 議事1	分科会長	議案第1号「第5次旭川市障がい者計画の策定について」事務局から説明願う。
	事務局	〔議案第1号資料に基づき説明〕 ※議案について，第5次旭川市障がい者計画の策定についての概要，実施予定であるアンケート調査の概要とその内容，の2つに分けて説明と質疑を行う。
	分科会長	まず第5次旭川市障がい者計画の策定についての全体的な内容について説明いただいたが，意見や質問があれば，発言願う。意見がないようなので，続けてアンケート調査の内容について，意見や質問があれば，発言願う。
	A委員	確認だが，策定部会の立ち上げ前にアンケート調査を行うということによろしいか。
	事務局	そのとおり。
	A委員	調査票の内容に修正を加える機会は今回が最後ということによろしいか。
	事務局	そのとおり。
	A委員	調査票A及びBの6ページ，小学校入学前の方に問うている，日中を主にどこで過ごすかの設問の選択肢について，選択肢にある「2. こども通園センター」は，この場合おそらく児童発達支援のことを指していると思うのだが，小学校入所前の方の通所施設としては，ほとんどが児童発達支援と思われるので，「1. 通所施設」に「2. こども通園センター」を含むこととするのがよいと思う。それと，選択肢に「認定こども園」が含まれていないので，加えた方がよいと思う。次に調査票Bの6ページ問10-1の，障害児通所支援や特別支援学級を利用した際の相談先を問

		うている設問について、基本的に今障害児通所支援を使う場合は、相談支援事業所でサービス等利用計画を立てるので、相談支援事業所の相談支援専門員が最初の窓口になっている可能性があるし、そういった方が支援学級等について何か助言を行っている可能性もあると思われるので、選択肢に「相談支援事業所」を入れた方がよいと思う。調査票Cの7ページ問15-1も同様である。
	事務局	参考にさせていただき、調査票を修正する。
	B委員	調査票A及びBの6ページ、小・中・高校生の方に問うている、通学先はどこかの設問について、高等支援学校ができていますので、ここの選択肢に高等支援学校を、それで選択肢の中に養護学校とあるが、養護学校がどこを指すのか今ひとつわからなく、高等支援学校と同一ではないので、高等支援学校を選択肢に加えた方がよいと思う。
	A委員	文部科学省の分類的に、特別支援学校という言葉が、ここの選択肢でいう盲・ろう・養護学校を含む概念と思われる。ただ旭川の場合は、特別支援学校という名称に変更せず従来の養護学校という名称を残しているが、ここの表現をどうするのか、というところであると思う。従来からの慣れ親しんだ表現の方がわかりやすい人もいるかもしれないが、そこはどう表現するかの問題かと思う。
	事務局	両委員の意見を踏まえ、選択肢に高等支援学校（特別支援学校高等部を含む）を加えるとともに、盲・ろう・養護学校についても、盲・ろう・養護学校（特別支援学校）という表現に修正する。
	分科会長	そのように対応していただきたい。ほかに意見等はないか。 障がいの方向けの調査票では10歳未満の方が調査対象となるケースもあると思われるが、記入者を書く欄はないのか。
	事務局	本人が自分で記入できないときは、本人の意向を確認した上で代理の方に記入していただきたい旨を案内文に記載する予定だが、前回、前々回の調査票と同様、この調査票の案に記入者を書く欄は設けていない。
	分科会長	調査票の最後にでも、記入されたのは本人か、それとも代理の方なのかを聞く欄があってもいいかと思った。
	事務局	調査票に記入者を尋ねる設問を追加する。
	分科会長	あと、調査対象者数が前回と異なるが、問題はないか。
	事務局	アンケート調査の精度をどこまで求めるかというところにもよるが、統計調査として一般的な精度で行うとした場合、およそ400程度の回答があれば成立するものではあるが、400を下回ってしまうと精度が落ちてしまうこととなるので、400を下回ることがないように回答想定数を設定し、そこから調査対象者数を逆算して算出しているところである。
	分科会長	了解した。紙調査票とウェブ回答の重複を避けるための整理番号だが、調査票の種類ごとに番号を分けるのか、それとも通し番号で付番するのか。
	事務局	調査票の種類ごとに番号を分ける予定である。重複して回答があった場合は、ウェブ回答を優先する。なお、紙調査票の場合に整理番号が記入されていなかったとし

		でも、調査票は有効として扱うこととする。
	C委員	近年、外国の方が増えてきているが、調査対象者に外国人が含まれる可能性はあるのか。
	事務局	住民基本台帳や各種手帳の台帳から無作為抽出するので、可能性としてはゼロではない。
	C委員	その場合、ほかの言語での調査票を用意する予定はあるか。
	事務局	今回は予定していない。次回以降、取扱いについて検討していきたい。
	分科会長	ほかに意見はないか。では、アンケート調査の内容については、各委員から出された意見を反映させたうえで、事務局案のとおりとする。 次に、その他について、何かあるか。
(その他)	事務局	今年度の分科会についてはこれで終了となる。現時点で次年度の審議予定内容は決まっていないため、日程も未定となっている。審議予定内容が決まり次第、調整させていただく。 また、議事録の確認に関し、分科会長以外の確認者について、事務局としてはD委員にお願いしたい。
	分科会長	委員からの異議がないようなので、D委員に確認をお願いする。
(閉会)	事務局	以上で、令和6年度 第3回 障害者福祉専門分科会を閉会する。